

# 「れんけいレポート」

～地域連携室報告～

発行：河内長野市医師会 (TEL 0721-54-1700)

平成 28 (2016) 年 10 月・第 12 号

◇河内長野市地域ケア会議認知症施策検討委員会：8月29日(月)開催(於・河内長野市医師会地域連携室)  
チーム員研修の状況報告に続き、「個人情報使用同意書」やチラシ等の内容、支援の手順、認知症サポート医の役割、広報活動等について検討。「認知症初期集中支援チーム」の愛称は、「河内長野市おれんじチーム」とした。第1回チーム員会議は10月24日(月)開催とした。

◇河内長野市訪問看護ステーション連絡会：9月1日(木)開催(於・河内長野市医師会地域連携室)  
ブルーカードシステムの概要、システム導入の進捗状況・スケジュールの説明。訪問看護指示書作成依頼(医師とケアマネジャー連携)問題の注意喚起を行い、「訪問看護など医療サービスを導入する際、厚生労働省令に基づき、主治医の指示が必要で、これを調整するのがケアマネジャー。役割はきちんと分担すべき。訪問看護師の方も認識しておいてほしい」と要請。他に意見交換等。

◇河内長野市地域ケア会議ブルーカードシステム推進委員会：9月7日(水)開催(於・河内長野市医師会館)  
第2回を開催。「連携病院」、「協力病院」とともに各6病院からの申込み。前者は榎本、さくら会、沢田、大阪南医療センター、岡記念、寺元記念の各病院、後者は田辺脳神経外科、大阪府呼吸器・アレルギー医療センター、城山、近畿大学医学部附属、老寿サナトリウム、滝谷の各病院(計12病院)。続いて、各種様式内容、未来構想等について質疑応答、意見等。今後のスケジュールとして、システム運用開始は11月1日(火)の予定、次回委員会は来年3月頃の開催とした。

◎ブルーカードシステム導入に向けた会員説明会：9月24日(土)開催(於・河内長野市医師会館)  
中林会長の挨拶、追矢理事(上記委員長)による本システムの概要説明、質疑応答(運用上の諸事項についての)、神戸理事(地域ケア会議議長)の閉会の辞があった。本システムのポイントとして、①予め受入病院(連携病院から1ヶ所選択)を事前登録する、②初診者には発行しない、③「ブルーカード」は専用封筒に入れて、冷蔵庫にマグネットで止めて保管、④やり取りはFAXで行う、⑤地域連携室が中継役を担うなどが挙げられ、「多くの先生方のご参画をお願いしたい」とした。

◇河内長野市「地域ケア会議」：9月27日(火)開催(於・河内長野市医師会地域連携室)  
認知症施策検討、いきいきフェスタ検討、ブルーカードシステム推進の3委員会、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会の活動報告。地域連携室からは多職種連携のための、(a)「れんけいエチケット集」(案)の提示、(b)「まちのれんけい室」・「れんけいカフェ」の開設、(c)「地域ケア会議」広報紙の発行の3点について提案を行い、了承を得た。さしあたっては、「れんけいカフェ」において、(a)の編集会議を行うとした。次回会議は11月29日(火)の予定。

◇河内長野市との懇談：9月16日(金)、保健福祉部の担当者と喫緊課題について協議。

□榎本病院「がん診療連携在宅病院会」：9月16日(金)開催(於・榎本病院5階会議室)

「がん性疼痛マネジメント」についての講演とアロママッサージの実演があった。前者では、がん性疼痛の特徴、薬物療法、痛みのアセスメント等について詳細な説明があり、後者では、「香り」と「タッチ」の緩和ケアに与える有用性が力説された。